

Instruction Manual

取扱説明書

ラック (ベタ棚3段・4段・5段 / スノコ棚3段・4段・5段)

- このたびは、製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

Index

安全上のご注意	1
お使いになる前に	2
表面保護フィルムについて	2
組み立てに際して	2
各部の名前	2
構成パーツと標準付属品	2
耐荷重について	2
組み立てかた (ベタ棚、スノコ棚共通)	3~4




安全上のご注意


- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの方え、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。






警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容 (左図の場合は一般的な注意) が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は一般的な禁止) が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容 (左図の場合は一般的な指示) が描かれています。

警告	
	●製品の上に乗らないこと ケガの原因になります。
上乗り禁止	

注意	
	●棚に物を載せ過ぎないこと 耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。(2ページの「耐荷重について」参照)
過積載禁止	
	●不当な改造をしないこと 不当な改造や指定以外の部品使用は製品破損等によるケガの原因になります。
改造禁止	
	●設置工事はお買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で設置工事をされ不備があると製品の転倒や落下などの原因になります。
専門業者	
	●組立、設置、清掃の時には必ず軍手を着用すること 素手で作業をすると、ケガの原因になります。
軍手着用	
	●設置面が丈夫で平らな所に、棚面が水平になるように設置すること 傾いていると積載物が落下して、ケガの原因になります。
水平に設置	

お使いになる前に

- 製品がお手元に届きましたら、型式、寸法、仕様などがご注文通りのものかご確認ください。
- 構成パーツ・付属品およびオプションの欠品はないかご確認ください。
- 輸送中の破損箇所等がないか点検してください。

お願い

- お取り扱いの際には、製品を傷つけたり、破損したりしないように充分ご注意ください。
- 雨や水のかかる場所に製品を放置しないようにしてください。
- 酸性の液体、塩分、洗剤原液が付着しないようにしてください。
- 潮風や海水のあたる場所には設置しないでください。
- 製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

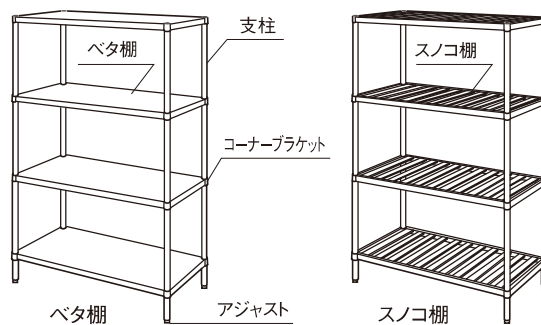
表面保護フィルムについて

- 製品の表面には、「表面保護フィルム（青色または透明）」が貼られています。
- 「表面保護フィルム」は、製品のご使用前に必ず剥がしてください。（長期間たつと剥がれにくくなります）
- 製造過程で「表面保護フィルム」に治具跡（シワ等）が残る場合がありますが、製品には影響ありません。

組み立てに際して

- 組立作業はできるだけ広くて平坦な場所で行なってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。

各部の名前



構成パーツと標準付属品

			ベタ棚 (段)	スノコ棚 (段)	支柱 (本)	ストッパー (個)	ゆるみ止め ビス (本)
SUS430	ベタ棚仕様	RB3型	3	—	4	12	12
		RB4型	4	—	4	16	16
		RB5型	5	—	4	20	20
	スノコ棚仕様	RS3型	—	3	4	12	12
		RS4型	—	4	4	16	16
		RS5型	—	5	4	20	20
SUS304	ベタ棚仕様	RBN3型	3	—	4	12	12
		RBN4型	4	—	4	16	16
		RBN5型	5	—	4	20	20
	スノコ棚仕様	RSN3型	—	3	4	12	12
		RSN4型	—	4	4	16	16
		RSN5型	—	5	4	20	20

※ストッパーとゆるみ止めビスの入った箱が棚のケースに同梱されています。



ストッパー



ゆるみ止めビス

耐荷重について

⚠ 注意



過積載禁止

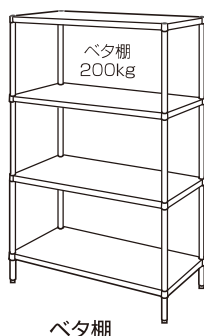
- 棚に物を載せ過ぎないこと
耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。

- ※耐荷重の数値は、すべて製品の自重も含みます。
- ※耐荷重の数値は、諸条件により異なる場合があります。
- ※耐荷重の数値は、均等な荷重で静止した状態での数値です。
- ※組立式の製品は、正しく組み立てが行われている場合の数値です。

- 太文字の数値は総耐荷重（製品全体の荷重量の上限）を示します。
- 細文字の数値は部分耐荷重（特定部分の荷重量の上限）を示します。
- 部分耐荷重は“荷重量の合計が総耐荷重を超えない”事が条件です。

総耐荷重 1,000kg

- 棚1段あたりの部分耐荷重は200kgです。



ベタ棚

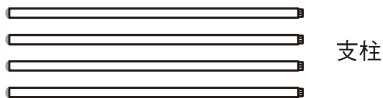
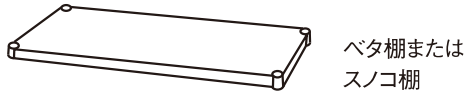


スノコ棚

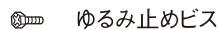
組み立てかた (ベタ棚、スノコ棚共通)

1 構成パーツと標準付属品を確認します。

「構成パーツと標準付属品」がすべてそろっているか、確認してください。(P2の表参照)

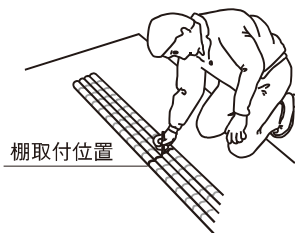


※ストッパーとゆるみ止めビスは棚のケースから取り出して、数を確認しておいてください。



2 支柱に棚取付位置の目印を付けておきます。

棚取付位置が決まれば、支柱を並べて同じ高さの溝にサインペンなどで目印を付けておいてください。



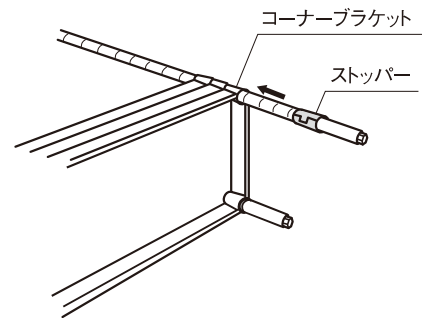
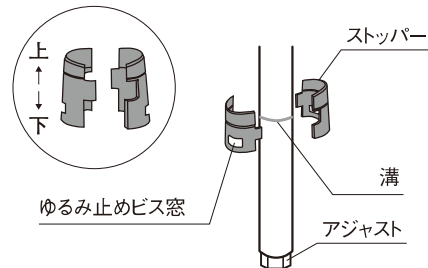
- ※支柱には棚取付用の溝が25mmピッチで刻まれています。
- ※完成時の棚の上面は溝より約10mm上の位置になります。
- ※キャスターをご使用の場合は、一番下の溝に最下段の棚を取り付けるようにしてください。

3 最下段の棚を取り付けます。

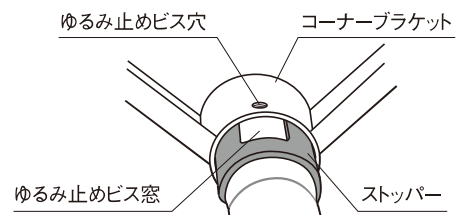
棚を重ねて横向きに立て、四隅のコーナーブラケットに支柱を挿入してください。最下段の棚取付位置にストッパーを付け、コーナーブラケットの中にしっかりと収まるように押し込んでください。

※棚の表裏を間違えないようにしてください。

※ストッパーは厚みのある方が完成時に下になるようにして、内側の凸部を溝に確実にめ込んでください。



※ストッパーのゆるみ止めビス窓をコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。(導電仕様の場合は必ず正確に合わせてください。)

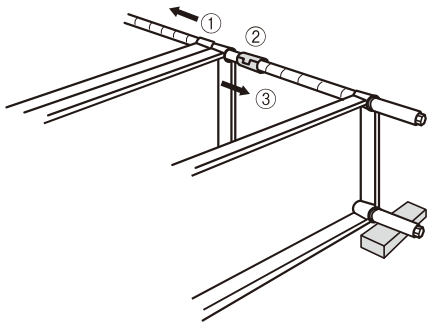


組み立てかた (ベタ棚、スノコ棚共通)

4 中段・上段の棚を、下から順に取り付けます。

支柱の下(上下4カ所)に3cm程度の厚みの物を敷いて棚が床から少し浮いた状態にしてください。

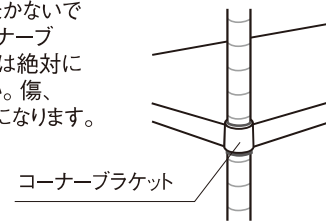
- ① 棚を一旦取付位置の少し上までスライドさせてください。
- ② 取付位置にストッパーを付けてください。
- ③ コーナーブラケットの中にストッパーがしっかりと収まるように棚をスライドさせてください。



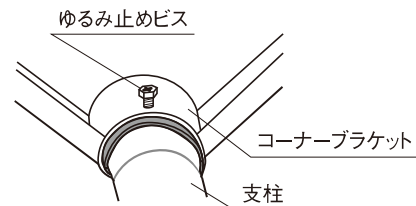
6 各部を固定します。

コーナーブラケット部分を上から数回たたいて固定してください。すべての棚の四隅を固定してから、コーナーブラケットの穴にゆるみ止めビスをねじ込んでください。

※必要以上に強くたたかないでください。また、コーナーブラケット以外の部分は絶対にたたかないでください。傷、破損、変形の原因になります。

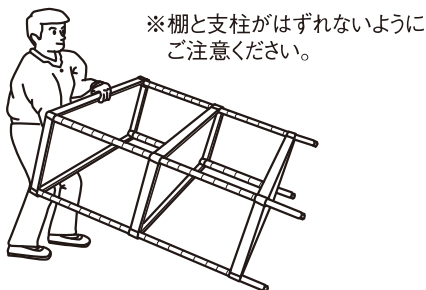


※ゆるみ止めビスは、先端が支柱に密着するように、しっかりとねじ込んでください。



5 ラックを起こします。

棚の取付各部を再度確認してから、ゆっくりとラックを起こしてください。



7 設置前に各部を点検します。

最後に、完成品の各部の状態を点検してください。

- ※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。
- ※支柱は垂直に、棚は水平に取り付けられているようにしてください。
- ※ラック全体の水平はアジャストで約30mmの調整が可能です。
- ※「表面保護フィルム(青色または透明)」は、必ず剥がしてお使いください。
- ※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。
- ※耐寒耐熱範囲は-30℃~+80℃、冷凍庫から高温庫まで対応可能です。

⚠ 注意



軍手着用

- ラックを低温・高温の環境で使用する場合は、作業時に軍手を着用すること

素手で作業をすると、凍傷ややけどの原因になります。